２０１９年　６月２０日発行

東村山三田会 Vol.10

発行人：紿田俊哉　編集人：東村山三田会会報編集委員会

第５回定期総会を終えて

会長　紿田　俊哉

令和元年を新たに迎えて１ケ月あまり、東村山三田会の会員・ご家族の皆様におかれましては、お元気に明るい日々を過ごしておられることと祈念致しております。

昨年、４月開催の第４回定期総会で、新役員体制による活動がスタートし１年余りが経過致しました。この４月 14 日には第５回定期総会が開催され、その席で 2018 年度の活動について詳細にご報告するとともに、2019 年度の活動計画について満場一致でご承認を頂き、その活動計画を楽しく実行できるよう４月以降取り組んで来ております。

令和元年の活動計画として取り組むべきその具体的内容は、７月に日帰りバスツアー、10 月 27 日（日）に当会の協賛が今回で４回目となる、デュオの会のピアノ・ソプラノ・ヴァイオリンコンサート、11 月頃にサントリービール工場見学、12 月には、昨年皆様にその内容が大好評でした Xmas パーティーを計画しております。

他方、会員相互の、より緊密な交流を願って、7 月 20 日（土）、11 月 16 日（土）、3 月 21 日（土）に、第 12 回、13 回、14 回目の誕生会を開催予定です。

会報につきましては、本号が第 10 号ですが、第 11 号も 12 月に発行を予定しております。

同好会活動につきましては、現状、「カラオケ」、「俳句」、「麻雀」、「歩いて三田会」、「スケッチ」、「ゴルフ」、「ボウリング」、「食べ歩く会」が、それぞれ多くの同好会会員登録を得て、これまで月一度程度の開催を続けてきておりますので、未だ、ご参加をされておられない会員・ご家族の皆様には当会のホームページをご参照頂き、更に奮ってご参加下さいますようお願い致します。

近隣の三田会（所沢三田会、小平三田会、西東京三田会、東久留米三田会）及び東村山稲門会とのお付き合いについては各会の公式行事での相互交流に加え、同好会への相互参加を含めて積極的に継続致します。

機会のあるたびに申しあげておりますが、当会の目指すものは二つあります。それは、「ご家族を含めて会員相互が当会企画の各種行事の楽しさを十分共有できる事」及び、「地域への貢献ができる事」にあります。役員一同、引き続きその実現に向かって努力をしてまいります。会員の皆様におかれましても、ご家族を含めてどうぞ当会との強い絆造りと当会の各行事へのご参加、ならびに当会の健全な維持・発展へのご協力をこれまで以上によろしくお願いする次第です。

令和元年を新たに迎えて１ケ月あまり、東村山三田会の会員・ご家族の皆様におかれましては、お元気に明るい日々を過ごしておられることと祈念致しております。

第１１回誕生会が開催されました

岡崎尋幸

第 11 回誕生会が 2019 年 3 月 16 日東村山駅西口の和食「ひら川」で 17 時から開催されました。

今回は誕生月が 12、1、2、3 月の方 33 名が対象でした。参加者は 12 名(S31 玉木、S37 大滝、S37 堀川(朝)、S38 内田、S44 斉藤、S45 廣田(眞)、S45 市川、S52 田中、S55 藤田、S57 佐藤(嘉)、H13 各務、H14 酒井、うち大滝さんは 8 月生まれですが都合で今回出席)と役員 4 名の計 16 名、久しぶりに会場のテーブル席が一杯となりました。

初参加は、玉木、堀川(朝)、市川、酒井さんの 4 名、玉木、酒井さんは入会早々の参加です。

役員から順に自己紹介を兼ねた近況報告が始まりましたが、やはり初参加の方に注目が集まります。

まず玉木さん、メンバーの中では一番年長ですが、ピシリと背筋を伸ばした姿勢が良く、穏やかな話しぶりながら、「他人の手を煩わせない生き方を貫きたいと思い、その通り実行している」と信念の一端を述べられました。

諸行事にはいつも参加してくださる堀川さんですが、誕生会は初参加だとのことで、これは意外でした。奇しくも本日が誕生日だそうで、「おめでとうございます」との周りの声に一頻り話が盛り上がりました。

市川さんは仕事に一区切りつき余裕ができたので今回参加に至ったとの事。海外勤務 24 年、話題は豊富、色々なエピソードを交えそのタフネスぶりを伺わせる楽しい自己紹介でした。

酒井さんは米国留学に加え、本学ビジネススクールにも学ばれた大変勉強好きな方ですが、何と斉藤さんのご子息と幼稚園の同級生で、斉藤さんを昔からご存じだったそうです。こんなご縁もあるものです。

終了間際、多用で遅れていた朝木さんが合間を縫って駆け付けてくれて、慌ただしい中にも恒例の花束贈呈、写真撮影を無事済ませ 20 時にお開きとなりました。

程好い酒と和やかな雰囲気で話が弾み、毎回予定時間を大幅に越えてしまい司会は大変ですが、何と言っても誕生会は気楽なところが一番です。まだ参加されておられない方も是非ご参加ください。

2018 年度　Xmas パーティー

斉藤忠義

今回は、家族も参加するアットホームな「Xmas パーティー」を 2018 年 12 月 23 日に企画いたしました。

参加者は 49 名（会員 26 名、家族等 18 名、来賓 5 名）で、会長挨拶後、「廻田町囃子連」の皆さんのお囃子が演じられました。

「まつりばやし」として市の無形民族文化財に指定されており、江戸末期に所沢で生まれた「重松流」が明治時代に東村山に伝えられたようです。お祭りの山車で見る方も

多いと思いますが、ひょっとこ、キツネ、おかめ、獅子など舞台狭しと見事な踊りを展開しました。

お囃子終了後、前副会長澤田さんの乾杯で懇親会に入りました。

来賓者の紹介後、所沢三田会大出会長より、ご挨拶をいただきました。

暫し歓談後、おなじみの「デュオの会」の上野姉妹による、ソプラノがありました。演奏は姉の亜依さん、歌は妹の菜摘さんです。今回は、「クリスマスソング」を中心に歌っていただきました。

櫻井さんの進行で、恒例の「ビンゴゲーム」が開始、今回の賞品は、点数も多く、選ぶのに迷うほど並べられていました。

毎年、シュクラメンやポインセチアからなくなるのですが、いちご狩りツアー招待券や「天喜」のランチご招待券とか、高価な酒類とか花以外のグッズが選ばれました。

慶応グッズがかなり用意されましたので、稲門会へ一部を贈呈いたしました。

今回は、お子様や会員の奥様方が多数参加し賑やかな「Xmas パーティー」となりました。

音響機材の調子が悪く、全員での合唱に手間取りましたが、何とか慶応賛歌、早稲田大学校歌、若き血を歌うことができました。

家族の会費を格安にしたため、予算超過となりましたが、過去最高の盛り上がりになりました。

同好会通信♪

☆食べあるくかい？(グルメの会)☆ （20名）

【世話役　櫻井正廣（S46年卒）　連絡先　msgemini30@gmail.com　TEL　090-1767-1617】

＜豊本 節男 記＞

第9回目は、2019年2月12日 午後5時半から、久米川駅南口から徒歩3分のビル2階にある「久米川 絹」で開催されました。

今回は、11名(女性は、佐藤さん1名)の参加でした。店内は、さほど広くはありませんが、とても落ち着いた大人の雰囲気で、少人数の会合にぴったりです。

私たちは、4人掛テーブル席3つを使っての会食となりました。

料理は、創作会席料理 が一品ずつ出てくるスタイルで、とくにローストビーフ、炊き込みご飯、酒粕入り杏仁豆腐などが美味しかったです。また、お酒の種類が豊富で、各地の地酒を、バイザグラスで楽しめます。私は、東村山の酒「屋守」、佐賀の「鍋島クラシック」などをいただきました。この日も会話が弾み、終わったのは9時過ぎでした。東村山に住みながら、地元のお店をよく知らない私は、この「食べ歩くかい？」をいつも楽しみにしています。

この会でお邪魔したお店に、家族を案内すること度々ですし、家族の評価も高いです。

いつものことながら、素敵なお店をチョイスしていただける櫻井さんに敬服です。

次回は、さらに多くの女性の参加をお待ちしています。

＜佐藤 嘉江子 記＞

第10回目は、5月20日（月）17時半より、久米川駅南口徒歩1分の「えびかずら」にて、13名の出席で開催されました。

えびかずら」は、かねてよりフェイスブックの友達数人の投稿を見て一度行っていみたいと思っていたお店。ワクワクです。店に向かって歩いていると、前に紿田会長のお姿が。場所がわからず、お連れ合い

と手分けして探しておられたとか。そう、入口がわかりにくいのです、この店。看板もなく、バイト募集の張り紙がなかったら私もわからなかったかも。

まずはビールで乾杯。2 杯目からは日本酒、ハイボール、焼酎お湯割り、女性陣は赤ワインをボトルで等、それぞれお好みで。

このお店はワインの種類が豊富と友達情報で知っていたので、普段は日本酒一辺倒の私も、3 杯目からはワインをいただくことに。赤 2 種類、白 2 種類の計 4 本が空きました。

お料理は、枝豆に始まり、生ハムシーザーサラダ、お刺身、牛肉炙り寿司（人数が多いので、2 人分だけ目の前でバーナーで炙ってくださいました）、ローストビーフ、山芋とシイタケの豚肉巻き串焼き、厚揚げのなんちゃら（このあたりになると、お酒がかなり入って料理名があやしい）、炊き込みご飯、デザート（チョコレートケーキ）の 9 品。

ビール→日本酒→ワインというお酒のセレクトともぴったりで、大満足でした。気がつけば 4 時間以上が経過しており、本当に楽しい時間でした。

ありがとうございます。

2 月の「絹」、今回と和食が続いたので、次回はフレンチを予定とのこと。期待が膨らみます。

☆慶美会（スケッチ同好会）☆　（7 名）

【世話役　清水英男（S38 年卒）　連絡先　hidshim@jt.ejnet.ne.jp　TEL　090-2655-9231】

＜大滝 恒雄 記＞

今回の慶美会は正福寺のスケッチだった。何しろ国宝の木造建築物で四角い形状なので単調なものになり、難しいことになるなと嫌な予感が頭をよぎった。

5 月 11 日は 28 度と前日に引き続く蒸し暑い曇天だった。それにもめげず慶美会の面々が東村山駅の西口に集合。タクシーメーター一区間をタクシーで乗り付けそれぞれスケッチにとりかかった（当会は足の不自由な方へのことを配慮しています）。

正面から描く人もいれば、45 度の角度を取る人、画用紙一杯に構図を取る人。遠景に収める人さまざまでそれも参考になる。

2 時間ほどスケッチをして引き揚げ、いつもの焼き鳥屋へ。湯豆腐に岩塩をちょいと付けて甘露。作品を披露してみんなで意見を出し合う。

これが又楽しい。作品の完成までの道は遠いようだ。

その前の慶美会は 2 月。公民館で持ち寄った写真から気に入ったものを選んで、作品にする。

難しいものは敬遠する人、あえて難しいものにチャレンジする人、奇抜な写真を見つける人、これも勉強になるのではないでしょうか？

絵と俳句は見てきたような嘘を言いと言われますが、良い絵のためなら、

多少のデファルメは許されます。10 数年前に飛騨高山に行ったことがあり、その疎水のある風景が気に入り、佐藤画伯が持参された写真を絵にさせてもらいました。これが愚作の作品です。ご笑覧くだされば幸いです。

☆俳句同好会☆ （９名）

【世話役　佐藤嘉江子（S57 年卒）　連絡先 kae_ztjjz@yahoo.co.jp　TEL　090-1734-7582】

＜坂本 正典 記＞

昨年の６月、「近隣の三田会」に入会するつもりでネット検索したところ、偶然にも東村山市にもあることがわかり、早速入会させていただきました。

当初は「麻雀同好会」が目的でしたが、その後他の同好会にも参加させていただき、今年の１月から「俳句同好会」の句会にも参加させていただいています。以下、4 回の句会での感想です。

僕は毎日規則正しい夜更かし生活を 10 年前から続けていて、それはサラリーマン時代からの夢でした。

10 時からの句会に参加するには、8 時半には起きなければいけないので、その日は確実に睡眠不足になりますが夜遅くなると不思議に体力が復活します。月一の早起きも悪くありません。

まず、句会の進め方がとても面白いなと感じています。それは、出句を各自思うがまま自由に意見交換できることです。作者不詳なので新人がベテランの句を批評することもあり、これは句会以外ではかなり難しいことだと思います。

また、新人の僕にはベテランの方々の句が時には難しすぎてその良さが解らないことがあります。

次に、当然と言えば当然のことでしょうが、句にはその人の個性が強く反映されるところです。

また、厳格なルールがあるようですが、山頭火風に自由な発想で超越？することも碧梧桐が提唱した自由律も許されるようです。

そして、初めて知る季語、読めない漢字、意味を知らない語句に毎回遭遇して今迄の不勉強を痛感しています。また、作句に際し説明的になり易く、或いは川柳風になったりしますので、いつの日かこれらを改善できるのかな？と気長に考えています。

初心者としての理解では、俳句には正解が無いようであり、情緒的であるがそうでもなく、理論的で無いがそうでもある、と感じています。また、句会でのツールは言葉なので、参加者の人となりがより深く伝わって来ます。適切でないかもしれませんが「人間観察」の場であり、自分を表現する場でもあると感じます。

デジタルを好みアナログを嫌う僕の性格は、俳句には不向きだと感じていますが、知らない世界に触れ新しい何かを見つけられるかもしれません。時間的・空間的制約なし、道具不要、金不要で一人遊びができる俳句は素晴らしいと思います。

「言葉遊び」をするという観点から、句会に参加して俳句を楽しんでいきたいと考えています。

会釈して春泥の道譲り合ふ	千枝子
亀鳴くや自己顕示欲てふ魔物	かえる
春泥ややはらかき風胸元へ	丸女
一条の鉄路の光雪野原	凡水
雨くもりまた雨くもり桜餅	蓑
春泥の辻に地蔵の影揺れる	栗丸
緑さす御陵に眠る昭和かな	岳徒
新緑の斎場清め雨上がる	弦六
春浅し水面の淡き影法師	正典

☆あるいて三田会東村山☆　（15 名）

【世話役　鈴木　実（S49 年卒）　連絡先　minoru_s@1975.jukuin.keio.ac.jp　TEL　090-6539-8336】

＜鈴木 実 記＞

雑司ヶ谷七福神巡り（2019/01/２8）

年始めの縁起のよいことのひとつに、七福神巡りがある。「あるいて三田会東村山」もこれまで「川越の七福神巡り」、「東久留米の七福神巡り」を訪ね、3 度目の今回は「雑司ヶ谷七福神巡り」である。

この機会に「雑司ヶ谷七福神」にまつわることを、しっかりと知っておきたい。そこで、「としま案内人雑司ヶ谷」という地元のボランティアガイドに、案内をお願いした。1 月末の平日だったせいか、参加者 6 名にガイドが 2 名という好待遇である。

ガイドの方と護国寺仁王門前で合流し、挨拶を交わす。同時に、取り寄せていただいた後朱印用の色紙を受け取った。そして、コースの説明が始まるや、「ここは文京区で、豊島区ではありません。なので、中に入りません！」ということで、さっそく清土鬼子母神の吉祥天に参拝し、御朱印を受けた。

つぎに清立院の毘沙門天、さらに大鳥神社の恵比寿神にて参拝、御朱印を受けた。

4 神目は、有名な鬼子母神。大黒天である。参拝ののち御朱印を受ける。鬼子母神堂の変額の鬼という文字は、その角がない。そのいわれについて説明を受けたが、これまで何度か訪れていて、ついぞ気がつかなかった。ガイドを頼んだお陰で、ひとつお利巧になったかな。

ガイドの方から、鬼子母神境内のお店にある名物「みみずくもなか」をいただく。

その場で食べ始めるひと、お土産にとバッグに入れるひと、それぞれである。

さて 5 福神目となる観静院の弁財天に参り、御朱印を受けた。ここは高台に位置しており、境内から池袋周辺が一望のもとである。

6 福神目となる布袋尊は、ビルの 1 階の片隅にちょこんと鎮座まします。ガイドの方の案内がなければ、あっという間に通過してしまうだろう。

最後の福禄寿を祀る仙行寺は、大きなビルの 1 階にある。7 つ目の御朱印を受けて、「雑司ヶ谷七福神」の御朱印がそろいました。同じビルの中の洞窟のようなところにある「池袋大仏」をお参りにして、昼食会場へ。池袋駅周辺でおすすめの食事処はとガイドの方に聞き、紹介された「音音」という和食店に予約を入れておいた。ガイドの方と別れぎわ、行き方を訪ねると親切にもお店の前まで案内してくれた。

ガイドに案内を頼むと、何かと助かることが多い。

「音音」では日本酒党、ビール党、ソフトドリンク組、それぞれが飲み物を注文して乾杯！食事のあとも話しが弾み、1 時間半をこえて居座ってしまう。「ランチタイムは終了です」と告げられ、お店をあとにした。

☆ボウリング同好会☆（15 名）

【世話役　紿田俊哉（S43 年卒）　連絡先　t.taida-vn@i.softbank.jp　TEL　090-6540-3927】

＜高橋 信一 記＞西東京三田会（昭和 47 年工学部卒）

西東京三田会の高橋信一です。4 年前からこの同好会に加えていただき、月一回のボウリングを久米川ボウルで楽しんで来ました。3 年前に慶應義塾大学文学部に学士入学して三田に通い始めましたので、休み期間中以外は余り参加出来ませんでしたが、漸く卒業しましたので、また再開しています。松田前会長や紿田会長ご夫妻を始め、加藤さん、斉藤さん、櫻井さん、田﨑さん、相川さん、田中さん、朝木さんと常連さんも多いです。

私は若い頃もアベレージは 140、50 くらいで大したことはありませんでしたが、毎回自分なりに投げる工夫をしながら、偶に出るストライクを楽しみにやっていました。投げている時は、日常的なことを忘れることが出来ます。子どもたちが小さい頃はいっしょに出かけましたが、独立して相手をしてもらえなくなりました。我が西東京三田会でも呼び掛けていますが、乗って来てくれる方は現れません。それで、こちらの同好会に入れていただきました。月一回平日のお昼前に集合して、食事後に 2 ゲーム（1,000 円程）行っています。それ以上やると、楽しみの域を越えてしまいます。

ボウリング場に行く前に集まって久米川駅周辺の食事処を毎回変えて廻るのも楽しみの一つです。和食洋食いろいろですが、もちろん投げる前なのでお酒抜きです。お陰で、私が 40 年以上住んでいます田無駅周辺よりも食べ物のお店が詳しくなりました。

食事中の話題は地元のローカルなものが多く、会員同士の近さを感じます。

生涯のハイスコアは 201（次が 200）ですが、近年は 180 そこそこしか行きません。なんとか田中さんの同好会記録 193（2 位は田崎さんの 190）を越えられるようにがんばろうと思っています。

☆麻雀同好会☆　（18 名）

【世話役　田中康之（S52 年卒）　連絡先　vvtanaka@m7.gyao.ne.jp　TEL　080-6528-0202】

＜河崎 賢一 記＞

私は 2 年前の東村山三田会忘年会の席で、同じマンション居住で卒業同年次の田中さんからお誘いを受けて、本同好会に入会しました。

清水さんを筆頭に常勝の方々に埋もれて、2 年間で優勝は 1 回のみという悔しい状況が続いています。

私は工学部出身ですので 4 年間日吉（矢上台）に通学しましたが、日吉駅改札を出た所で麻雀仲間に捕まり、学校とは逆方角の雀荘へと直行した回数も数知れず・・。

40 歳頃からは麻雀をする機会が無くなり、今回 20 年ぶりの月 1 麻雀に楽しく参加させて頂いています。

最近の月例会は 12 名（三卓）が参加する盛上りです。3 月例会では、斉藤さんが月例会久方ぶりの役満（四暗刻）を上がった中、月出（ひたち）さんが、初参加で初優勝の離れ技を放ち、既存会員に衝撃を与えました。

本同好会では、年１回東村山稲門会と麻雀慶早戦を開催しています。第四回の今年は１月 20 日に１チーム各々6 名参加にて行いました。個人戦は、当同好会の清水さんが

４連覇の偉業を達成され、向かうところ敵なしの状態です。団体戦は、斉藤さんが稲門会の方に大三元を振込む衝撃が走ったものの、東村山三田会が勝利し、通算成績は３勝１敗となりました。麻雀終了後、久米川駅近くの居酒屋で懇親会の席を設け、次年度慶早戦での健闘を期して乾杯しました。

本同好会は３月 31 日の月例会で、2014 年６月の初顔合わせから数えて通算 50 回（慶早戦除く）の開催を迎えました。

まだ現役で仕事をしている会員も複数在籍しているため、月例会は土日・祭日開催を基本としており、健康麻雀を謳う久米川の雀荘「優」で今年も熱い戦いが続きます。

今なお現役で麻雀を楽しんでいる方、何十年ぶりに麻雀を楽しみたい方、ぜひ、麻雀同好会に参加してください。大歓迎です。

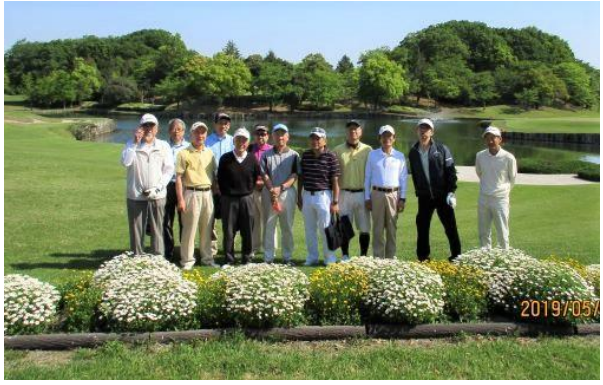
開催月	2018 年 12 月	2019 年１月 慶早戦	２月	３月	４月	５月
優勝者	廣田	清水	清水	月出	河邊	熊谷

☆ゴルフ同好会☆　（14 名）

【世話役　阿蘇　秀男（S49 年卒）　　連絡先　nadeshiko.aso.1710@jcom.home.ne.jp】

＜内田 光郷 記＞

第８回コンペ開催（5 月 10 日　於：清澄ゴルフ倶楽部）



今回はコースも新たに清澄ゴルフ倶楽部にて参加者 12 名で開催。5 月の爽やかな風を受けながら、素晴らしいコースを堪能しました。

三田会コンペの成績は、前回に引き続き飯塚さんが２連覇を達成いたしました。

上位３人は、前回と同様のメンバーが入りました。力が安定しているのでしょうね。初参加の月出(ﾋﾀﾁ) さんも久々のゴルフを楽しみました。

プレー後は、お茶と軽食をとり、しばしプレー談議に花が咲き、各自が持ち寄った賞品（千円程度）を成績順に好きな品を頂きながら、次回もこの清澄ゴルフ倶楽部で 10 月の開催を約して解散しました。

＜上位３人の成績＞　　(HDCP はダブルペリア方式)

順位	氏　　名	グロス	HDCP	ネット	ニアピン
優勝	飯塚武彦（S 42）	100	24.0	76.0	豊本節雄（IN3 番） 廣田　進（IN8 番） 丸　弘之（OUT13 番） 河邊　喬（OUT17 番）
２位	市川栄二（S 45）	88	10.8	77.2	
３位	丸　弘之（S 56）	99	21.6	77.4	

☆カラオケ同好会☆　（20 名）

【世話役　斉藤 忠義（Ｓ44 年卒）　連絡先　yasaka_kumegawa@yahoo.co.jp　TEL 090-7005-9959】

＜斉藤 忠義 記＞

当初は毎月開催していたのですが、諸事情により、昨年末から、隔月に開催といたしました。

会場は東村山駅近くの「ビッグエコー」で、原則として月曜日の午後 6 時から 9 時までの 3 時間、コース料理と飲み放題で 3,500 円位の会費で、雑談を交わしながら歌って飲んでおります。定例開催以外で、カラオケのみ楽しみたい会員のために、希望者があれば久米川の「ＢａｎＢａｎ」で平日の日中に開催いたします。

毎回、10 名程度の参加者がいますが、数名の方は最近顔を出さなくなったのが残念です。

最初の 1 時間は、飲みながら、近況とかの雑談で過ごしており、懇親会になっています。

各人の持ち歌とか好みもわかっていますが、毎回、新曲を披露する方や、レパートリーを変化させている方もおり、驚かされることも多々あります。

私などは、聞き覚えのある曲をぶっつけ本番で歌い、途中でギブアップすることもありますが、仲間内なので、恥じることもありません。

現在は、機器の性能が良いので、声が出なくてもどうにかなるので、是非、会員になってください。

新入会員紹介♪

玉木皓雄

昭和 8 年 12 月 15 日生れ、85 歳。27 年麻布高卒 31 年法学部法律学科卒。富士銀行入行。1 男 1 女あり。

平成 24 年妻に先立たれ一人暮らし。幾つかのボランティア活動とクラシックコンサート通いが元気の源

月出英樹

新しく皆様のお仲間に加えさせていただきました月出（ひたち）英樹です。珍しい苗字ですが静岡県伊豆市の出身です。

昭和 59 年に理工学部に変わる直前の工学部を卒業しました。

卒業後、日本電気（ＮＥＣ）に入社し、電子デバイス関連の仕事をしてきました。市場が世界だったこともあり、ｱﾒﾘｶに 10 年滞在し、2003 年 10 月に帰国し、恩多町 3 丁目に居を構えました。

その後は、東京をベースに、アジアを中心に飛び回る生活が続きました。

少し忙しすぎたためか、2016 年 8 月に、自宅で急性大動脈解離という大病で倒れ、救急車で病院に運ばれ、10 時間を超える手術により、一命はとりとめました。しかし、かなりひどい脳梗塞を併発しており、左半身がマヒしました。仕事を辞め、リハビリテーションを行い、現在に至っております。今は航空公園にある国立リハビリテーションセンターに通っています。私は病気により生活が一変してしまいました。

皆様におかれましては、健康にはくれぐれもご注意ください。

坂本正典

出身は山口県柳井市、昭和 28 年 5 月 31 日生です。

国語が苦手、数学・英語・地理が得意で、入試科目で探すと商学部が最適でした。紆余曲折があって 28 歳から就活、キャリア無し故に選択肢は外資系だけでした。10 年前に退職、東村山に移転し現在に至る。

髙橋裕純

総合政策学部（一期生）を 1994 年に卒業。

現在は、東村山で倉庫やコンサルティング等の会社を経営しつつ、衣食住文化のイベント（和食、着物等）をプロデュースしています。今後とも、よろしくお願いいたします。

酒井啓江

2014 年経営管理研究科（MBA)修了の酒井啓江と申します。東村山には４年前に戻ってきました。

今は、社会福祉法人緑風会（緑風荘病院、介護老人保健施設グリーン・ボイス等）で働いています。

趣味は、テニス・ワイン・食べ歩きです。

大森雄治

政策・メディア研究科を 1998 年に修了

☆今後の活動の予定☆

7月20日　第12回誕生会	7月27日　日帰りバス旅行
10月27日　第8回デュオの会コンサート協賛	11月16日　第13回誕生会
11月中旬　サントリービール工場見学	12月22日　Xmasパーティー

☆会員の情報☆

会員数　　83 名（6 月 1 日現在）

新入会員　酒井啓江

退会会員　塚本洋子、進藤真澄、中村多枝子

会員通信　原稿募集！！

会員の皆様からの原稿や写真を募集致します。テーマは「塾、東村山」を始め、特に限定は致しません。掲載の可否は役員会で決定致します。誌面の都合上写真の取捨選択を含め若干の手直しをお任せ頂きたいと存じます。文字数は 200～400 程度で「氏名、卒年、学部」を添えて次の応募先に応募してください。

郵　送：〒189-0014　東村山市本町 3-9-10　東村山三田会　会員通信 原稿応募係　廣田眞一

メール： higasimurayama_mitakai@yahoo.co.jp

ホームページ　投稿募集！！

同様に、ホームページ掲載する会員の皆様からの原稿や写真を募集しています。

投稿される方は、ホームページ担当（田中）までご連絡ください。

メール： vvtanaka@m7.gyao.ne.jp

編集委員　廣田眞一・斉藤忠義・田中康之